

# 名家連ニュース

平成30年11月22日(木)  
発行：特定非営利活動法人  
名古屋市精神障害者家族会連合会  
会長 堀田 明  
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 563号

## —— 第4次 名古屋市障害者基本計画 ——

### 障害者施策推進協議会専門部会の「まとめ」報告

1. 障害者住宅改造補助事業の精神障害者への対象拡大を検討します。
2. 自立訓練（機能訓練・生活訓練）を充実します。
3. 精神障害者に対するタクシー料金の助成（特別福祉乗車券との選択制・月8枚、年96枚支給）対象を手帳2級所持者まで拡大することは困難。
4. 市営住宅のグループホーム利用など社会資源の整備を進めます。
5. 障害者支援施設やグループホーム、精神科病院等から地域での一人暮らしに移行した障害者への生活の不安に対して、定期的な居宅訪問等により状況把握を行い、必要な助言や関係機関との連絡調整を行う自立生活援助を実施します。
6. 精神医療の受診拒否者や医療中断による生活が困難な精神障害者への地域の実態に応じたアウトリーチ支援の検討を進めます。
7. 当事者や家族を含めたピアサポートの活用を図るとともに、障害や病気に対する正しい理解の普及を推進します。※家族ピアサポート総合事業は、第4次障害者基本計画に明記されています。
8. 「地域移行・地域定着支援普及及び啓発用のパンフレット」の活用やピアサポーターの養成・活用を通じ、長期入院者の退院の動機づけ支援を行います。また、保健・医療・福祉等関係者による協議の場を通じて、退院促進を一層活性化させるとともに、安心して自分らしい退院後の地域生活が営めるよう、地域包括ケアシステムを構築します。
9. 介護する家族の高齢化に伴う障害者の家族からの自立などに対応するため、必要な生活支援の充実を図ります。また、新たに制度化された共生型サービスを含め、高齢障害者が、介護保険サービス等必要なサービスを円滑に利用できるよう、関係機関等との連携を進めます。
10. 成年後見制度利用に係る費用及び報酬等を助成する成年後見制度利用支援事業を推進します。



「策定部会のまとめ」→障害者施策推進協議会「素案」承認→パブリックコメント→議会提出承認→平成31年4月1日施行のスケジュールで進んでいきます。パブリックコメントには一人でも多くの家族会員に参加を呼びかけ、意見を提出していきましょう。（部会委員：池山豊子、協議会委員：堀田 明）  
第4次基本計画情報は、名家連ニュース「第517号」「519号」「520号」「538号」を参照して下さい

甲州・東海ブロック高山大会開催（11月9/10日） 報告者：名家連副会長 末次文夫

《記念講演》伊藤順一郎氏「開かれた地域精神医療、進めようアウトリーチ」（メンタルヘルス診療所「しっぽふぁーれ」院長） 研究職退官後、医療チームを編成してACTを実施。豊かな実践報告。

《3分科会》①「当事者の規律に向けた作業所の在り方」 飛騨では農業分野への進出が41%を占める。報酬改定がありB型作業所はどこもピンチ。②「元気な家族会への挑戦」 春日井市の黒川修氏が医療費助成運動の実践報告。③「地域とのつながりの大切さ、リカバリーに必要な要素」 自助グループ“たんぼぼ”廣田祥久氏が自分や仲間の生活体験を発表。参加者は延べで約400名でした。